

第2回滋賀県企業庁経営戦略懇話会意見等への対応

参考資料 1

	意見等	対応	現行戦略 該当頁	素案 該当頁
1	「前期」という言葉は、前の年という意味でとらえてしまう。	ご指摘のとおり、「前期」「後期」ではない別の単語で表現します。 (たとえば、令和○年度から●年度まで など)	全体	全体
2	骨子案のリスクコミュニケーションにおいて、水質検査結果における迅速な情報発信とあるが、どういうことか。	現行の水質検査結果については、企業庁ホームページで公開していますが、迅速に正確な情報を届けられるよう、必要に応じて、最適な手段を選択し情報発信を行うこととするという趣旨です。	第4章 【安全】 P. 22	第4章 【安全】 P. 29
3	老朽化と耐震化については戦略の中で書き込む必要がある。老朽化をみておけば耐震化もクリアできるという比例の関係であるということを戦略に書き込んで説明する方が誤解を招かないと思う。これらを重要な点として受け止めてもらいたい。	以下のとおり、戦略に反映します。 ・アセットマネジメント計画の着実な実施【共通】 令和7年度に見直した「アセットマネジメント計画」(計画期間：平成28年度～令和37年度)に基づき、水道施設(浄水場、管路、設備など)の更新を行うことにより老朽化に対応するとともに耐震対策を行い、強靱化を図ります。	第4章 【強靱】 P. 24	第4章 【強靱】 P. 31
4	(自家発電設備について) 県の上位文書があり、震災時の望ましい稼働時間の確保についてガイドラインがあれば、企業庁としての対応を正当化するという書き方ができるので、責任を果たしていることになる。上位文書から引用して一言二言書き加えたらよいのではないか。	以下のとおり、戦略に反映します。 ・非常用発電能力の強化【共通】 停電が発生しても水供給が継続できるように、非常用発電設備の未整備施設への整備や老朽化した非常用発電設備の更新を進めます。更新にあたっては、24時間以上を目標に長時間の停電に対応できる設備の導入を進めます。	第4章 【強靱】 P. 24	第4章 【強靱】 P. 32